

「海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム」科目概要（35科目：163時間）			
授 業 科 目	担 任 者（ 所 属 ）	授 業 概 要	時間数
実践基礎教育プログラム(9科目:計43時間)			
◎ 異文化コミュニケーション	守崎 誠一(関西大学外国語学部教授) 榎本 智子(関西大学外国語学部教授)	言語・非言語コミュニケーション、価値観、宗教観、企業文化、倫理観の視点から、異文化コミュニケーションの現象を多角的に理解・分析する手法を身に付ける。	6※
◎ 人を動かす論証型プレゼンテーション	岩崎 千晶(関西大学教育推進部教授)	経営に関する知識や情報、経験を整理し視覚化させるために「シンキングチャート」「プレゼンテーションスキル」を活用して、思考力を高めるための手立てとする。	5※
交渉学	唐澤 理恵(office KARARIE)	交渉相手と良好な信頼関係を構築しながら、最大の利益を得るための交渉戦略、手法を、ビジネスの場面でありがちなケーススタディ等を通して身に付ける。	5※
伝わる文章作成技法	毛利 美穂 (関西大学プログラム・アドバイザー)	経営に関わる情報や課題の本質を捉え、様々な判断の根拠を示し比較検討をするための「クリティカルシンキング」「ロジカルライティング」の技法を身につける。	2※
◎ 経営戦略	吉田 史朗 (S&Gビジネスディレクション株式会社代表コンサルタント)	海外進出の目的を、企業戦略(成長戦略)的視点と競争戦略的視点から、今注目をされている代表的な経営戦略論によるアプローチや、様々な企業事例等を通して明確にする。	6※
◎ 国際マーケティング	馬場 一(関西大学商学部准教授)	国際マーケティングの戦略(国際マーケティングリサーチ、参入意思決定、STP)及び戦術(マーケティング・ミックス)を体系的に学び、事例を通じてその理解を深める。	4※
◎ 子会社経営で直面する課題 (ケーススタディ)	根田 忠 (元JETRO大阪本部 貿易投資アドバイザー)	子会社経営でよく直面する課題(人間関係、リスク管理、人事労務問題、子会社と親会社の関係等)について、ディスカッションを通して自分事化し、その解決策を考える。	6※
◎ 組織・運営戦略	屋代 徳文 (いそな総合研究所コンサルタント、社会保険労務士)	グローバル視点で立案した経営戦略を実行していく上で、どのように組織を編成し動かし、人材を配置・育成しパフォーマンスを上げ、そして評価・報酬に結び付けていくのかを考える。	6
経営・人事戦略	筒井 真紀 (いそな総合研究所コンサルタント、社会保険労務士)	他社事例を踏まえつつ自社の資本経営について理解を深めるとともに、自社におけるパーパスおよび経営戦略を踏まえ、それを実現する人事戦略のあり方を模索する。	3
専門教育プログラム(14科目:計70時間)			
◎ ASEANの宗教・文化	酒井 真道(関西大学文学部教授) 小杉 麻季亜(関西大学文学部准教授)	ASEANでは、イスラム教、上座部仏教、ヒンズー教等の宗教が生活の隅々まで影響を与えており、現地の人と接するときに必要な知識を学習する。	5※
◎ ASEANの地理・歴史 ー経済的影響と戦略ー	野間 晴雄(関西大学名誉教授)	ASEANの国々に赴任し、海外子会社の経営や海外で直面する課題を解決する上で必要となる、実践的な生活の知恵と現地の人と接するときに必要な知識を学習する。	5
◎ ASEAN経済	後藤 健太(関西大学経済学部教授)	グローバル・バリュー・チェーンの分析枠組みを用いて、ASEANで広がる生産・流通ネットワークの実態と、産業高度化の課題と可能性における国際化戦略の策定能力を養う。	5※
◎ ASEAN発展論	北波 道子(関西大学経済学部教授)	アジア経済のダイナミクスを理解し、それに伴う製造業の生産拠点移動など、一定の法則性を理解する。	5※
◎ 中国経済の現状と課題	梶谷 懐 (神戸大学大学院経済学研究科教授)	中国の市場化のプロセスを分析し、中国の国家資本政策と外資政策に関する知識を習得したうえで、いくつかの事例の考察を通じて、さらに実践的に理解する。	4
◎ 日本的経営思想	田中 一弘 (一橋大学大学院経営管理研究科教授)	日本企業の経営は、江戸時代以来の日本的経営の思想が連続と引き継がれている。現地の方が合理的に理解できるように、日本的経営思想の歴史と手法を学習する。	6※
◎ 海外経営のための企業会計入門	柴 健次(関西大学名誉教授)	会計は異文化コミュニケーションの強力なツールであるという視点に立ち、会計の基礎力の養成として、ファイナンスの思考回路と会計の思考回路の相違を理解する。	6※
◎ 海外経営のための管理会計	大西 靖 (関西大学大学院会計研究科、経済学部教授)	企業の経営管理において、必要不可欠な原価計算及び管理会計に関する知識を修得する。	6※
◎ 海外経営と国際租税法	中村 繁隆 (関西大学大学院会計研究科教授)	日本の親法人との取引を題材に、現地国の国内租税法と租税条約の関係を学習し、国際租税法の基本思考を習得する。	5※
◎ 海外経営のための会計情報の利用	柴 健次(関西大学名誉教授)	企業での問題がどのように会計情報にされるのかを考察し、逆に会計情報の変化から企業の状況の変化を読み解く。	5
グローバル経済	高屋 定美(関西大学商学部教授)	変動の激しい世界経済の動きを客観的に理解し、海外子会社を経営する上で必要な世界経済と進出先の国の経済の動向、そして将来を分析できる能力を身につける。	4※
ASEAN法律制度	西澤 希久男 (関西大学政策創造学部教授)	ASEANの海外子会社経営で直面する課題に対し、とくに紛争処理及び消費者保護に関する法律に焦点を絞り、各国の法制度の概要、特徴、及び問題点を学ぶ。	6
海外展開のためのM&A	牧野 信夫 (株式会社マッキーコーポレーション取締役CEO)	ケーススタディを通じて、グローバル企業に特有の問題点、組織論、人材活用、リーダーシップに焦点をあて、発展段階毎に必要な人材の資質を理解する。	6
海外赴任者との接続授業	三島 徹也 (関西大学大学院会計研究科教授)	海外赴任中の修生と接続し、海外の実情や海外赴任の実際を知り、またケーススタディを学ぶことで、赴任時のリスクヘッジを身につける。	2
実践応用教育プログラム(8科目:計42時間)			
◎ 海外事業体(子会社)における管理者の責任と役割I・II	野本 隆 (元ダイハツ工業株式会社エグゼクティブ・アドバイザー)	経営者・管理者の心得、責任と役割を明確にし、「行動指針」をダイハツの例を参考に学ぶ。また、立案した行動・改善計画等の成果を発表する。	6※ 3
海外事業体(子会社)におけるコンプライアンス体制		コンプライアンスについて、違反防止に向けた体制の整備と行動指針を考える。	3
海外派遣者のためのストレスマネジメント	池見 陽(関西大学人間健康学部教授) 川端 康雄(大阪医科薬科大学 臨床心理士)	海外生活をする上で必要なストレス・コントロール法の獲得する。海外で直面する課題を解決する手法を学ぶ。	6※
◎ 海外子会社の経営者として必要な能力	宮本 昭洋 (元いそなブルグニア銀行代表取締役社長)	事例をもとにしたディスカッションを通して、問題点の把握と本質的理解、解決策の模索を行い、経営者として必要な能力について考え、説明する。	6※
◎ グローバル企業の人材育成	牧野 信夫 (株式会社マッキーコーポレーション取締役CEO)	グローバル人材の定義・要件設定を行い、それに沿った人材育成を行う組織と教育の在り方を理解する。	6※
◎ 子会社経営で直面する課題 ー人事労務政策ー	根田 忠 (元JETRO大阪本部 貿易投資アドバイザー)	海外子会社で直面する人事労務政策にかかる課題において、経営者としてどのように考え、行動するべきかを事例・ディスカッションを通して考え、説明する。	6
◎ 経営者の戦略的役割	吉田 史朗 (S&Gビジネスディレクション株式会社代表コンサルタント)	経営者としての戦略的な役割の中で、特に社員を引っ張る「リーダーシップ」を身につけること、「経営管理能力」を発揮すること等に焦点を当てる。	6
テーマスタディ(4テーマ:計8時間)			
「これからの世界に日本はどう立ち向かうのか」大武 健一郎(元国税庁長官)		「関西企業の海外展開状況(仮称)」講師調整中	8
「現代インドの政治と経済」福味 敦(関西大学政策創造学部教授)		「海外での知的財産権(仮称)」講師調整中	

注1：開講科目・時間数は、若干増減・変更する可能性がある。(2025年1月現在) 注3：時間数の※は、ベーシックコースの対象科目を表す。
注2：授業科目の◎は、アドバンストコースの必修科目を表す。

〈問い合わせ〉

関西大学社会人学び直し大学院プログラムオフィス
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

TEL 06-6368-3016 (10時～17時 土・日曜・祝日を除く)

URL <http://www.kansai-u.ac.jp/relearn/>

e-mail manabi-contact@ml.kandai.jp

詳しくはWEBで。

関大 リカレント

検索



〈アクセス〉受講会場 (関西大学 梅田キャンパス)

〒530-0014
大阪府大阪市北区鶴野町1-5

- 阪急「梅田駅」茶屋町口から徒歩約5分
- JR「大阪駅」から徒歩10分
- 地下鉄谷町線「中崎駅」から徒歩5分



社会人学び直し・リカレント教育

グローバル人材を育成する

海外ビジネスマネジメント講座

海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム〈アドバンストコース〉

ハイブリッド型

対面(梅田キャンパス)オンライン併用型

無料セミナー

申込フォーム

募集説明会

文部科学省
職業実践力養成プログラム(BP)
履修証明プログラム



Brush up Program
for professional

厚生労働省
「専門実践教育訓練」認定講座

個人の方
教育訓練給付制度

事業主(企業等)の方
人材開発支援助成金



関西大学

世界で通用する課題設定力と思考力を養う



社会人学び直し大学院プロジェクト
プロジェクトリーダー/経済学部 教授

林 宏昭

海外展開を行う企業には、語学力に加えて、深い異文化理解に根ざした経営戦略を立案できる人材が求められます。具体的には、異文化環境に臆せず飛び込むバイタリティをもち、自律的に課題設定から解決までを行い、現地の人々と対等な関係を築き、企業価値を高めることのできる人材です。本プログラムでは、大学教員が行う専門・教養教育による「理論知」に加えて、企業出身教員による実践的な教育によって「実践知」を学ぶことができます。

これら二つの知を両輪として多様な宗教・価値観が共存する海外での展開を想定した戦略事例を学ぶことで、国・地域に限定されない汎用性をもった真の思考力を養成します。体系化された教育プログラムと徹底したサポート体制で、海外での活躍をめざす社会人のキャリアアップを応援します。

本プログラムの の特長

- ▶ 経営戦略、トップマネジメント、ASEANの宗教、地理・歴史、経済など体系化されたカリキュラム
- ▶ ケーススタディでのディスカッションや、グループワークを通じての問題解決力、経営交渉力の向上
- ▶ 企業出身の実務家教員による実践的な講義
- ▶ 授業を欠席した場合でも、ビデオ講義にて視聴可能
- ▶ 修了生には、学校教育法に基づき「履修証明書」を交付

こんな方におすすめです！

受講生像

- 次世代経営者の育成・マネジメント研修をお探しの方
- 中小企業の海外展開支援を行う金融業界の方
- これまでの経験知を実践知にUPDATEしたい方
- 海外展開企業へキャリアチェンジをお考えの方
- 海外赴任者および外国人社員の方の研修をお探しの方

本プログラムのゴール

ASEANに関する幅広い知識と教養を有し、現地の人々と対等でWin-Winな関係を築き、問題点をいち早く認知するとともに、その問題点に対し、自らの頭で自主的によく考えて判断し、自らの責任で自律的かつ積極的に行動し、解決していくことで、会社を発展させていく能力を養成します。

教育プログラムの概要

本プログラムは、3段階の体系性を有しています。具体的には、「実践基礎教育プログラム」は、実務家教員等による演習・講義であり、海外におけるマネジメントの基礎を学習します。「専門教育プログラム」は、大学教員による専門的な講義であり、グループワークやディスカッションを用いた教育効果の高い授業により、理論知を身につけます。「実践応用教育プログラム」は、実務家教員等による演習であり、経営者の視点・考え方を学びます。

START

約 9ヶ月

GOAL

【履修証明プログラム※〈アドバンスコース〉】

必修 <22科目 118時間>

- 異文化コミュニケーション ● 海外事業体(子会社)における管理者の責任と役割I・II ● 経営戦略 ● 日本的経営思想 ● 中国経済の現状と課題
- ASEAN経済 ● 国際マーケティング ● 海外経営のための会計情報の利用 ● グローバル企業の人材育成 ● 経営者の戦略的役割 …他11科目

自由選択 <13科目 45時間>

- 海外展開のためのM&A ● ASEAN法律制度 …他11科目

※開講科目・時間数は、若干増減・変更する可能性があります。

※「履修証明プログラム」とは、社会人等の学生以外の者を対象とした特別の課程で、体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムで、目的・内容に応じ総時間数60時間以上で設定されています。本プログラムは、合計120時間以上の科目に合格した場合に、学校教育法に基づく履修証明書を交付します。

※厚生労働省所管の教育訓練給付金または人材開発支援助成金申請者のみ必修科目の設定があり、申請されない方は、全科目自由選択となります。

学び直しのサポート体制

社会人が受講しやすい環境工夫	都心型キャンパス (時間的制約の解消)	関西大学梅田キャンパスは、阪急梅田駅(徒歩5分)の大阪市北区鶴野町に開校。
	e-learningによる学習 (教育の実質化)	ビデオ視聴による事前授業にて30分程度の予習を行い、必要な知識を習得。
	講義・収録配信システム (欠席に関わる配慮)	授業を欠席した場合、当日の授業映像をオンデマンドにて視聴可能。
	集中合宿授業 (人的交流促進)	集中合宿授業(関西大学六甲山荘)を実施。異なるバックグラウンドを有する受講者が授業時間内外を通じて、お互いに意見を交換することにより、教育効果を高め、人的ネットワークを創出。

講師メッセージ

関西大学 経済学部／教授

後藤 健太

授業科目 ASEAN経済



グローバル化時代の企業高度化戦略を考察

本授業では東南アジアに広がる国際生産・流通ネットワークのダイナミックな展開の実態と、産業高度化の課題と可能性を、近年注目されるようになったグローバル・バリューチェーン(GVC)の分析枠組みを用いて分析する能力を養います。さらに、日系企業の視点に立ち、その国際化戦略の策定に必要な素養を培い、実践に生かせる力をつけることを最終目的とします。本授業では、①ASEANを含むアジア経済の地域統合の実態をレビューし、②GVC分析枠組みを習得し、③それを用いて各自の企業の高度化戦略を考察することで、問題認知力と解決力を高めます。

派遣企業の声



西村 元秀さん

泉州電業株式会社代表取締役社長

モニターとして若手社員を送り出してから10年、本講座も11期目となり参加経験者も22名で大半が海外部門で活躍中です。内容も実践的で今後も海外駐在員の育成に大いに活用させていただきます。

元ダイハツ工業株式会社エグゼクティブ・アドバイザー

野本 隆

授業科目 海外事業体(子会社)における
管理者の役割・コンプライアンス体制



海外事業体のトップ・幹部になる方々へ

日系企業では日本の部長クラスの人材が海外事業体の社長、工場長に任命される事が多くあります。しかし、経営経験がないまま現地に赴任するため大変ご苦労されているケースが散見されます。本授業では海外で活躍できる人材の要件、経営者・管理者の心得・責任と役割、行動指針を学び、各自の行動・改善計画を立案し実践していただきます。また、コンプライアンス違反防止に向けた体制整備と行動指針を考え実践していただく事を目標としています。受講された皆さんが、夢と期待と自信を持って海外に赴任される事を願っています。

講座Webページ

関西大学 海外ビジネスマネジメント講座

ハイブリッド形式での講義を開始！！

説明会・個別相談会 申込み受付中

詳細をチェック

授業紹介ムービー

動画をチェック

梅田キャンパスにて開講

修了生INTERVIEW

動画をチェック

2025年度(第11期生募集概要)

募集要項

海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム〈アドバンスコース〉〈ベーシックコース〉の“2コース”を開設

募集要項公開

ASEAN海外赴任者もLIVE受講可能！

詳細をチェック

	アドバンスコース	ベーシックコース
募集定員	20名	10名
授業時間数	35科目(163時間)	19科目(100時間)
履修証明書交付条件	上記授業時間の内120時間以上の授業に合格	上記授業時間の内70時間以上の授業に合格
受講料	400,000円	300,000円
対象教育訓練(給付割合)	専門実践教育訓練(受講料の最大7割給付)	一般教育訓練(受講料の2割給付)
第1次出願期間	2025年4月1日(火)～4月30日(水)	
受講期間	2025年5月31日(土)～2026年3月13日(金)	
開講形式・対面場所	ハイブリッド形式・対面場所：関西大学梅田キャンパス	

全国どこからでも
受講可能

無料セミナー
募集説明会
申込フォーム

